国政レベルでは辻立ちはほぼ無意味

「政治屋失格」内田雅章さん著

BOOKセレクト

大学生の就職支援を手がける「株式会社就職課」を創業した内田雅章さん(42)が、著書「政治屋失格」(ビジネス社、1000円)で、2010年参院選での「出馬未遂」のてん末を記している。公認をもらうために各党を〝はしご〟し、ようやくこぎ着けた出馬を直前で辞退…。今夏の参院選については「静観する」という政治家志願の実業家が気付いた国会議員になるために必要な「3つのカギ」とは―。(結城 正)

当選へ3つのカギ

参院選を前に、公認を求めて駆け回った。「あの手この手で〝裏の扉〟がないか、探しましたね」。正式な公認ルートは性に合わず、近道を求めて、各党の関係者間をはしごした。3年前の参院選。内田さんは、どうしても公認がほしかった。

みんなの党には断られた。同党からは、タリーズコーヒージャパン創業者の松田公太氏が出馬し当選した。「松田さんと天びんにかけられたんですかね。光栄ですけど」。新党日本は、田中康夫代表と何度も食事をし「いい雰囲気」だったそうだが、秘書に金銭や日程の直接的な質問をぶつけ、「嫌われた」とか。民主党、国民新党、日本創新党の関係者とも会った。一見、信念に欠けた行動だが「当選しないと何も言えない。まずは国会議員にならないと」。ある意味、それが信念だった。

目線入りの自分の横顔が表紙となった著書を手にする内田雅章さん

「たちあがれ日本」で、ついに公認の約束を取り付けた。ポスター撮影までしながら「公認を知らせると、味方だと思っていた人が敵に回ったり、大変な状況になった」ことで発表前日に断念。結局、この時の参院選は、ある候補の選対本部長という形で携わったが、その候補は大差で落選した。

異例の「出馬未遂」を体験し、いかにも実業家らしい「当選のカギ」に気付いた。「①この党なら、誰が出ても勝つという〝風〟に乗る、②誰かの地盤を受け継ぐ、③急激に知名度が上がる。どれかが満たされない限り受からない。地道な辻立ちとかは、国政レベルだと、ほぼ無意味ですよ」というが、こうした「カギ」を有権者はどう思うか…。

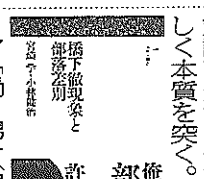
政治家となって「教育と外交」で実現したい政策案は持っているが「受からないことには、能書きタレても仕方がない。ダメなら神様に選ばれなかったということです」。今夏の参院選。内田さんは前回ほど積極的には仕掛けずに「チャンスを待つ」そうだ。

◆内田雅章(うちだ・まさあき)1970年9月8日、愛知・津島市出身。42歳。早大商学部卒業後、三和銀行入行。2000年に退行し、マンションデベロッパー、仕出し弁当販売、銀座のクラブ経営などを手がける。04年に株式会社就職課を設立。未遂に終わった参院選出馬決断時に、同社は譲渡した。現在は社員研修、営業支援のコーディネート業などを行う。

◆プレゼント　内田さんの著書を3人に。希望者は、はがきに、〒住所、氏名、年齢、好きな作家と社会面の感想を書き、〒108―8485 報知新聞社文化社会部「ブック 政治屋失格」係まで。2月7日の消印まで有効。当選者発表は発送をもって代えます。

新刊レビュー

▼「橋下徹現象と部落差別」(宮崎学+小林健治、にんげん出版、987円)「週刊朝日」連載「ハシシタ 奴の本性」は一体、何が問題だったのか。「橋下徹は嫌いだ」と明言する2人の論客が対談で分かりやすく、激しく本質を突く。



▼「働く男」(星野源、マガジンハウス、1365円)過剰に働く注目の男が音楽、俳優、文筆業を振り返った。手書きコード付き歌詞、出演作の裏側、映画エッセーほか。「ハードすぎて、僕が死のうが、僕には関係のないことです」

▼「人生案内 ピンチをのりきる変化球」(野村総一郎、日本評論社、1260円)読売新聞の相談コーナー「人生案内」に掲載された回答を101本厳選。精神医学の専門家である著者が丁寧に答えた。人生相談の極意がここにある。

◇週間ベストセラー(総合)(1月30日・日販調べ)

	書名	著者	出版社	定価
1	聞く力	阿川佐和子	文芸春秋	840円
2	できる大人のモノの言い方大全	話題の達人倶楽部	青春出版社	1050円
3	ａｂサンゴ	黒田　夏子	文芸春秋	1260円
4	スタンフォードの自分を変える教室	ケリー・マクゴニガル	大和書房	1680円
5	夢をかなえるゾウ２	水野　敬也	飛鳥新社	1575円
6	何者	朝井リョウ	新潮社	1575円
7	置かれた場所で咲きなさい	渡辺　和子	幻冬舎	1000円
8	謎解きはディナーのあとで３	東川　篤哉	小学館	1575円
9	私服だらけの中居正広 増刊号～輝いて～Ｐａｒｔ３		扶桑社	300円
10	別れる力 大人の流儀３	伊集院　静	講談社	980円

自殺で「暗いトンネル抜けようとした」

大津市第三者委員会「いじめが要因」認定

市長に報告書提出

大津市の中2男子自殺で、市の第三者委員会(委員長・横山厳弁護士)は31日、「いじめが自死につながる直接的要因になった」と明記した最終報告書を越直美市長に提出した。自殺といじめの因果関係を認めるもので、学校の対応について「いじめの理解が不十分だった」と指摘した。越市長は記者会見で「大変厳しいご指摘をいただいた」と謝罪した。

報告書は男子生徒が自殺する前の約1か月間に、仲のよかった同級生2人から19件のいじめを受けたと認定。男子生徒は自殺することで「暗いいじめのトンネルを抜けようとした」としている。

また、市教育委員会と学校の対応については「いじめの事実究明を途中で放棄した」と批判。複数の教員がいじめの可能性があると判断したのに、教員全体で情報を共有できなかった学校について「なぜいじめと認知できなかったのか強い疑問が残る」とした。

市教委については「自殺翌日に学校に『調査に入らない』と連絡し、自分たちで問題を解決する意思が全くなかった。事実分析よりも訴訟を重視した対応をとった」と責任感の欠如を批判した。

市教委はいじめの主体をこれまで同級生3人としていたが、1人についてはいじめの要件には該当しないと判断した。男子生徒の担任は、三者委が求めた対面調査は断り、質問に書面で回答を寄せた。

父親調査に感謝

自殺した生徒の父親(47)は、横山委員長らから報告書の内容について約1時間にわたり説明を受けた後、大津市役所で記者会見し「やはり息子は学校に見殺しにされた」と感想を語った。会見の冒頭では「ここまでたどり着くことができたのは、中学の生徒さんたちが書いてくれたアンケートのおかげ。息子は、天国でありがとうと言っていると思います」と感謝の気持ちを表した。また、体罰問題にも触れ「学校で意図的に隠蔽されれば、保護者は何が起きているのか知るよしがない。学校の可視化が絶対に必要」と訴えた。

いい前例に

いじめ防止に取り組むNPO法人「ジェントルハートプロジェクト」小森美登里理事「ここまで詳しく調査し、いじめが自殺の要因と認める報告書をつくるのは異例中の異例だ。学校や市教育委員会の怠慢や、教師にいじめに対応する知識や能力がなく情報を生かせなかったことがよく分かる。今回のケースが、今後のいじめ調査のいい前例になってほしい」

正田絢子さん 引退

全国大会常連

教諭は約10年間、レスリング部を率い、最近では一昨年と昨年のインターハイ学校対抗戦でそれぞれ3回戦に進出した。「非常に熱心。前任者と変わらない成績を残している」と学校関係者。着任時から全国大会常連という部の看板を背負いながらも、期待通りの実績であった」との声が学校側に寄せられた。学校は「行きすぎた指導があったのではないか」として、同25日からこの教諭の部活動での指導を停止し、調査を始めた。

府教委によると、教諭は伊調さんや井上さんを直接指導した前任者の転任に伴い、2003年4月に赴任。授業は保健体育を担当している。高橋現時点で体罰の有無は分からない。レスリングは格闘技で、判断が難しい」と説明した。

一方、府教委は「これまで教諭の体罰事案は報告されていないが、本人だけでなく周囲の教員らにも聞き取りを行い、過去もさかのぼって調べたい。体罰があったと認められれば厳正な処分を検討する」とし、早ければ

リング部

40代男性顧問指導自粛

レスリングで五輪メダリストを輩出している京都府立網野高校(京都府京丹後市)で、レスリング部顧問の40代の男性教諭が体罰をした疑いが浮上し、指導から外れていることが31日、同校や府教育委員会への取材で分かった。学校は25日に全校生徒を対象にアンケートを実施、調査を進めている。同校はアテネと北京五輪で銀メダルを獲得した伊調千春さん(31)やアテネ五輪銅メダリストの井上謙二さん(36)の出身校。同部の顧問には、世界選手権4度優勝の正田絢子さんもいる。

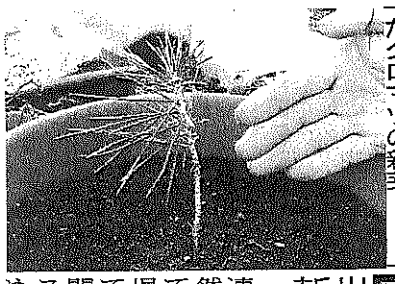
部員からの告発

1月中旬ごろ、複数の部

高田松原に松の新芽

東日本大震災の津波で約7万本の松が流された岩手県陸前高田市の景勝地「高田松原」に、松の新芽が出ているのを地元保存会のメンバーが見つけた。保存会は鉢に移して育てることにし「新たな希望のシンボルになってほしい」としている。

発見したのは「高田松原を守る会」の及川征喜さん(68)。昨年12月23日に松原の跡地を散策中に10ヘクタールほどのクロマツの新芽を見つけた。松原に残っていた種が発芽したとみられ、及川さんは7万本も松があったのだから、何か残っているのではと思って、いつも地面を探していた。見つけた時はうれしかった」と振り返った。


「高田松原」で見つかったクロマツの新芽

琉球・奄美 世界自然遺産暫定リストへ

政府は31日、関係省庁連絡会議を開き、世界自然遺産への登録を目指している「奄美・琉球」(鹿児島県、沖縄県)について、国連教育科学文化機関(ユネスコ)の暫定リストに追加することを決めた。リストに掲載されると正式な候補となる。環境省は早ければ2015年にユネスコに推薦し、翌16年夏に開かれる世界遺産委員会で登録を目指す。登録されれば、国内で5件目の自然遺産となる。

対象地域は、奄美大島、徳之島、沖縄本島北部、西表島の4島を軸に環境省が詳細を検討しており、確定には1年以上かかる見込み。奄美・琉球は、日本列島や大陸と陸